

高田高校 SSH 通信 76号 Ⅲ期第10号

「第一義」で世界に挑め！

～日本を牽引するイノベーション人材の育成～

新潟県立高田高校 SSH 部

令和7年11月27日

令和7年度2学年 東京研修特集号

普通科東京企業研修

10月8日（水）から10日（金）の3日間、本校2学年の生徒が東京研修に行ってきました。初日に普通科の生徒は計22の企業を訪問しプレゼンテーションを行い、企業の皆様から貴重なアドバイスをいただきました。

ご協力いただいた企業：

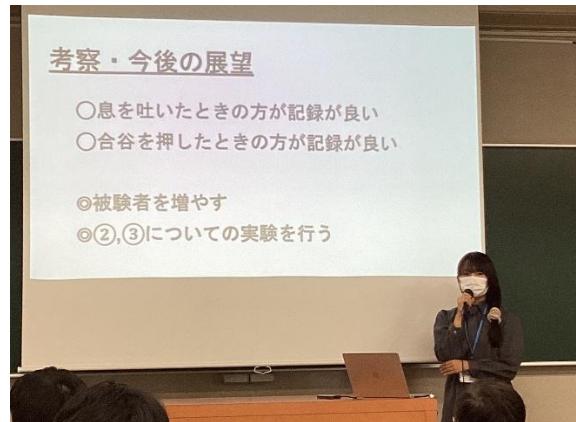
みずほフィナンシャルグループ株式会社みずほ銀行、住友生命保険相互会社、シティユーワ法律事務所、株式会社ベネッセコーポレーション、数研出版株式会社、株式会社朝日新聞社、株式会社ぐるなび、野村ホールディングス株式会社、日本電気株式会社、大成建設株式会社、石油資源開発株式会社(JAPEX)、パナソニック コネクト株式会社、本田技研工業株式会社、キヤノン株式会社、株式会社東芝、JCCソフト株式会社東京本社、横浜ゴム株式会社、信越化学工業株式会社、株式会社ジー・サーチ(富士通株式会社)、株式会社テラスカイ、日本ケミコン株式会社、大日本印刷株式会社



SSHⅢ期 理数科東京研修発表会（課題研究発表会）

理数科サイエンスコースの生徒は宿舎で「東京研修発表会」を行いました。本校の卒業生である3名のアドバイザーにお越しいただき、様々な視点からの助言やアドバイスをいただきました。今後の探究活動に活かせる発表会となりました。アドバイザーの小竹斎様(高35回)、高倉隼人様(高66回)、江戸心太様(高76回)、本当にありがとうございました。

理数科メディカルコースの生徒は日本大学医学部附属病院にて「メディカル発表会」を行いました。



SSHⅢ期 東京研修英語ディスカッション

2学年東京研修の2日目（10月9日）の午前中にKFCホールで英語ディスカッションを行いました。SSHⅢ期の新たな取組の1つとして、「英語での発信力の向上」を掲げており、その一環として今年度から2学年の東京研修で実施することになりました。「世界規模で解決すべき課題」を自分たちで考え、その解決策と、解決策の実現可能性を考察し、外国人の方にプレゼンテーションを行うことができるようになるため、2年生は夏休み前から4～5人程度のグループで、協力して情報を収集し、工夫を凝らしたスライドを作成し、英語での発表練習に取り組んできました。ディスカッション当日は、開会時は緊張した面持ちの生徒が多かったですが、いざディスカッションが始まると、外国人留学生と懸命に英語でコミュニケーションを図ろうとしている生徒の姿を多く目にすることができます。生徒からは「楽しい！」という感想も聞かれ、そして何よりも英語の得手・不得手に関係なく、ディスカッション後の生徒の表情に達成感が見てとれたことが大きな収穫でした。めげることなく大きな課題をやり遂げた2年生のみなさん、お疲れ様でした！そして1年生のみなさん、来年度の東京研修でワクワクするような経験ができる期待しています！



校友会東京支部長内山様による講演会

2日目（10月9日）の研修後は、宿舎に戻ってから、日本ケミコン株式会社の代表取締役社長・会長を歴任され現在校友会東京支部長の内山郁夫様（高22回）よりご講演をいただきました。「人との出会い」を大切にしてきたという内山様のお話に、生徒は真剣に耳を傾けました。

<生徒の感想>

○人生で大切なことを高田高校の大先輩から伝えていただきました。そして、自分がどんな生き方をしていきたいか、どんな人間になりたくて、何をしたいのかを深く考えることができました。

○内山様の講演を聞いて特に印象に残ったことが3つある。1つ目は、コミュニケーションを大切にすること。2つ目は、常に120%を目標にするということ（100%は普通だし80%だとやさしすぎる、150%では疲れてしまう）。私も内山様のように常に目標を高く掲げて進んでいきたいと思った。3つ目は、自分が何をやりたいのかをしっかりと持つということ。やりたいと思ったことは徹底的にやり、自信を持って自分の夢を語れる人でありたいと強く思った。

